

質疑・一般質問

12月4日、5日、6日の本会議では、20人の議員が登壇し、小中学校の体育館の空調整備や中学校部活動の地域移行、大久保駅周辺市有地の利活用に向けた取り組みなどについて、市の見解を求めました。

発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は2面から5面に掲載しています。

なお、二次元コードを読み取ると本会議の録画映像をご覧いただけます。



発言者一覧

—発言順— () は会派名

- 飯田 伸子** (公明党)
- ①生理休暇を取得しやすい環境整備への取組 ②誰もが気軽に楽しめるサイクリングロードへの利用環境の整備 ③明石市立市民会館における障害者や高齢者等要配慮者の避難経路確保
- 山中 裕司** (市民の会)
- ①都市で気軽に楽しめるアーバンスポーツの可能性と推進 ②持続可能な地域のボランティア活動
- 竹内 きよ子** (明石かがやきネット・代表質問)
- ①大久保駅周辺市有地利活用の進捗状況 ②本市の小・中学校の抱える課題とその対応 ③明石養護学校の課題 ④明石市内の観光スポットへのモニュメント設置
- 正木 克幸** (明石維新の会)
- ①明石市のさらなる産業振興政策 ②DX化の推進による市民サービス向上
- 石井 宏法** (自由民主党明石・代表質問)
- ①明石市の財政見直し ②観光地域づくり法人(DMO) ③豊かな海づくり ④体育館の空調整備
- 河村 和歌子** (公明党)
- ①プレコンセプションケア(若い男女を対象として将来の妊娠のための健康管理を促す取組)の推進
- 中川 夏望** (市民の会)
- ①市民が安心して利用できる公共施設の在り方 ②こどもや保育士が守られる保育環境の整備に向けて ③子育て支援のさらなる発展のために
- 林 丸美** (明石かがやきネット)
- ①災害時における自助・共助への市民の関心を高める取組
- 中村 茂雄** (明石維新の会)
- ①運動部活動の地域移行 ②これからのこどもの居場所づくり
- 灰野 修平** (自由民主党明石)
- ①本市の地域経済活性化や地域産業の強化 ②本市の持続可能な医療費制度 ③大久保駅周辺市有地の利活用に向けた取組
- 国出 拓志** (公明党)
- ①明石市公式LINE ②LINEのオープンチャット ③市内の小中学校の体育館におけるエアコンの整備
- 黒田 智子** (市民の会)
- ①地域で安心して暮らすために金銭管理が必要な方への支援 ②地域共生社会に向けたコミュニティ・スクールのさらなる推進
- 出雲 有希子** (自由民主党明石)
- ①PFASの問題への対応
- 尾倉 あき子** (公明党)
- ①DV被害等困難な問題を抱える女性への支援 ②特別支援教育の充実
- 山下 祥** (市民の会)
- ①制度の間で取り残されている子育て世代に目を向けた施策 ②本市の関係人口を濃く広く増やしていく取組
- 井藤 圭順** (自由民主党明石)
- ①小学校の民間プール活用 ②中学校部活動の地域移行 ③神戸マラソン
- 金尾 良信** (市民の会)
- ①放課後等デイサービスの課題 ②災害発生時における福祉避難所の連携体制 ③市内の踏切内の安全対策強化
- 辻本 達也** (日本共産党)
- ①明石川のPFAS汚染 ②市政の課題 ③外国人児童生徒の教育に係る現状認識と今後の取組 ④介護保険における住宅改修 ⑤放課後児童クラブ
- 中西 礼皇** (対話の会あかし)
- ①自転車に関する取組 ②観光振興
- 家根谷 敦子** (スマイル会)
- ①障害者支援 ②誰一人取り残さないまちづくり

多様な学びや体験ができる こどもの居場所づくり 1月に魚住地区でも開設予定

問 自己肯定感を高めるこどもの居場所づくりについて本市の見解は。

答 本市は学校になじまないなど、さまざまな課題を抱える6歳から18歳の子どもの対象に多様な学びや体験ができる学校でも家庭でもない第3の居場所として、令和3年9月にあかしフリースペース☆トロッコを開設以来、より良いこどもの居場所とするために改善を重ね



令和3年9月開設 あかしフリースペース☆トロッコ

ており、利用待機者の対応として定員を30人に拡充し、利用が少ない子どもの枠を待機者が利用できるデジタル制度を導入した。また、子どもの声をききかけにスパーでの就労体験や高齢者対象のスマホ講座の講師を担うなど、人の役に立つ経験や職業観を育む学びの場の支援等を実施した。

支援の拡充に向け、今年1月、魚住地区に新たなこどもの居場所を開設する予定だ。ビ

問 市内中学校等の体育館への空調整備状況と今後の小学校の体育館への整備について市の見解を問う。

答 近年、猛暑による熱中症のリスクが増加していることから、市内全ての中学校と明石商業高等学校の体育館に空調機器を設置する。計画として令和7年4月から工事を行い、7月の稼働を目指す。

問 全中学校と明商に体育館の空調整備今年7月稼働へ

現在開発されているエネルギー効率の高い空調機器は、バスケットボールの高さ程度の低い位置に設置し、緩やかながら通常の数倍の風量かつ直進性のある冷風により、高さ3メートル以下、50メートル先まで冷やせ、人がいる空間のみ冷やすため消費エネルギーは少ない。また、6年度の民間提案制度からの試行実施として1、2校に遮熱シートを設置し、断熱効果が認められた場合、他校にも導入し、経費削減を図る。費用は総額3億7千万



今夏に空調を設置予定(明商体育館)

問 増加傾向にある外国人児童生徒の現状と今後の取り組みについて聞く。

答 本市は、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在留期間等に応じて、在籍する学校に県派遣の子ども多文化共生サポーターや市派遣の子ども多文化共生ボランティアを配置し、

問 増加傾向にある外国人児童生徒の現状と今後の取り組みについて聞く。

答 本市は、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在留期間等に応じて、在籍する学校に県派遣の子ども多文化共生サポーターや市派遣の子ども多文化共生ボランティアを配置し、

問 増加傾向にある外国人児童生徒の現状と今後の取り組みについて聞く。

答 本市は、日本語指導が必要な外国人児童生徒等の在留期間等に応じて、在籍する学校に県派遣の子ども多文化共生サポーターや市派遣の子ども多文化共生ボランティアを配置し、

子どもたちが行きたい居たい、やってみようがある場所として、利用登録のない子どもも利用できるフリーコーナーを併設するなど、個々の子どもに合った取り組みを行っていく。

問 子どもたちや地域の輝く未来を創るためには、コミュニティ・スクールの推進が必要と考えるが、市の認識は。

答 本市は、学校・地域・家庭が連携・協働し、子どもの今を育てつつ、未来を生き、未来を創る資質・能力を育むための仕組みづくりを行うため、令和元年度から全小学校、2年度から全中学校にコミスクを導入した。

問 コミュニティ・スクール各校の実情に応じて推進を

6年度に開催したコミスクフォーラムは、

答 本市は、学校・地域・家庭が連携・協働し、子どもの今を育てつつ、未来を生き、未来を創る資質・能力を育むための仕組みづくりを行うため、令和元年度から全小学校、2年度から全中学校にコミスクを導入した。

地域の特色は学校ごとに異なり、不安や課題もさまざまであることから、市教育委員会は、サポート希望のある学校を訪問し、各学校の実情に応じてコミスクを推進できるような課題を聞き取り、助言している。

実践発表やパネルディスカッションを行い、各学校の取り組みを発信した。今後もコミスクの考え方を共有する機会を設け、各学校の実情や特色に応じたコミスクの推進・支援を行うとともに、広報紙等も活用しながら情報発信し、市民に理解を深めていきたい。